

1 題材名 いまのお話は、なん時のことかな？

2 題材について

本時は、児童3名による小集団活動である。本題材では、自立活動の内容4「環境の把握」の(5)認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること及び、6「コミュニケーション」の(2)言語の受容と表出に関するに基づいて設定した。学習指導要領では、「障害のある子供が自己のもつ能力や可能性を最大限に伸ばす」ことを掲げている。自立活動は、障害による困難を改善・克服し、各教科で育まれる資質・能力を支えることを目指していることから、一人一人の障害の状態に応じたきめ細かな指導が必要であると考え。

指導にあたっては、各教科等において育まれる資質・能力を支えるための学習上又は生活上の困難の改善・克服をねらいとした。そのために、これまでの自分の経験によって作り上げてきた概念を、自分が新たに認知や行動を進めていくために活用するとともに、話し言葉や文字を用いて相手の意図を受け止めたり自分の考えを伝えたりするなど、言葉を受容し表出することができる基礎的能力を育成していきたい。

3 題材の目標

- 時間の概念の形成を図ることにより、思考したり、判断したり、決定したりしながら行動することができる。  
認知や行動の手掛かりとなる概念の形成 (4 - (5))
- 時間の経過や連続性の内容のあるストーリーを作って伝え合い、相手の意図を受け止めたり、自分の考えを伝えたりすることができる。  
言語の形成と活用 (6 - (2))

4 児童の実態と個別目標

氏名	題材における実態	題材における個別指導目標
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートをとるなどの書く活動で、ますや行の数、丁寧さなどに過度にこだわり時間がかかる。</li> <li>・教師や友達の言葉や発表に対して自分のもったイメージと違うことがあると細かなことにも疑問をもち、活動が遅れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決められた時間の中で活動を終わらせることができる。 【4-(5)】</li> <li>・友達の発表の内容の意味を推理することができる。 【6-(2)】</li> </ul>
K	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しい気持ちが高じて、場にそぐわない話にとめどなく興じて、落ち着きを欠いてしまう。</li> <li>・学習への集中が途切れ、教師や友達の言葉や発表から気持ちがそれると鼻歌を歌ったり、奇声をあげたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決められた時間を意識して活動することができる。 【4-(5)】</li> <li>・発表を落ち着いて聞き、よく理解することができる。 【6-(2)】</li> </ul>
R	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の物の管理に困難があり、学習に臨む際に机上を整えることができない。授業の前にトイレをすますことを忘れ、学習中にトイレに行く。</li> <li>・楽しい気持ちが高じて、場にそぐわない話にとめどなく興じたりして、教師や友達の言葉や発表から意識がそれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決められた時間を意識して行動することができる。 【4-(5)】</li> <li>・発表を落ち着いて聞き、よく理解することができる。 【6-(2)】</li> </ul>

5 指導計画と評価 (4時間扱い) ○囲みが本時

主な学習内容・活動	評価		
	A	K	R
1 ストーリー性のある展開で、何分か後の時刻を求める。	課題の内容に応じ適切な時間内で、ノートを書くことができる。	一つの活動を終わったら、友達の活動を落ち着いて見守ることができる。	教師の励ましを受けながら、意欲的に課題に取り組むことができる。
2 ストーリー性のある展開で、時刻と時刻の間の時間を求める。	課題の内容に応じ適切な時間内で、ノートを書くことができる。	一つの活動を終わったら、友達の活動を落ち着いて見守ることができる。	教師の励ましを受けながら、意欲的に課題に取り組むことができる。
3 ストーリー性のある展開で、何分か前に戻した時刻を求める。	課題の内容に応じ適切な時間内で、ノートを書くことができる。	一つの活動を終わったら、友達の活動を落ち着いて見守ることができる。	教師の励ましを受けながら、意欲的に課題に取り組むことができる。

④	時刻や時間についてのストーリーを作り、問題を出し合う。	問題の意味を理解することができる。	課題に応じた活動をすることができる。	課題を理解し、問題を作ることができる。
---	-----------------------------	-------------------	--------------------	---------------------

6 本時の指導

(1) 目標

ア 全体目標

○ 楽しみながら意欲を持続して時間の概念を思考したり、判断したりすることができる。また、友達の発表に対して意図を受け止めたり、自分の考えを伝えたりすることができる。

イ 個別目標

A：友達の発表した問題に対して、自分のもったイメージと友達の意図を一致させながら理解し、答えを求めることができる。

K：課題を理解し集中して問題作りを考え、書くことができる。また、友達の発表した問題を落ち着いて聞き、よく理解することができる。

R：楽しい気持ちを課題解決に向け、教師の助言や励ましを受けながら集中して問題作りを考え、書くことができる。

(2) 準備・資料

①「春風をたどって」の挿絵の提示物      ②問題の例文      ③問題作成用のワークシート

(3) 展開

○個に応じた支援 【    】自立活動

学習活動及び内容	教師の指導・支援と評価 (◎評価 ☆自立活動に関する支援)			
	全体	A	K	R
1 始めの挨拶をする。	・緊張しないで楽しく活動しようとして声をかけながら号令を促す。	○丁寧に机上が整頓できていることを称賛する。	☆準備が早い時は、落ち着いて待つように声をかける。【①-2-3】	☆机上が整頓できているか、忘れ物がないか声をかける。【③-1】
2 本時の学習内容とめあてを知る。 時間の問題をつくることができる。	・どんな場面が問題になるか問いかけ国語で学習した物語の場面を例示する。	☆課題文のみ提示し、意味を問う発言を引き出し、例示によって納得させ、意欲を高める。【①-2-3】	☆どんな場面か素早く発想して言えたときは、称賛し気分を良くさせる。【①-2-3】	☆課題にためらっているときは、物語に時刻と時間を加えること説明する。【①-1-1】
3 例示された問題文を読む。	・①「時刻を求める問題」②「時間を求める問題」③「戻した時刻を求める問題」を音読するよう促す。	☆答えとなる時刻や時間を発表させ、課題解決への自信を感じられるようにする。【①-2-3】	○音読することを指名するなどして読ませ、落ち着いて読めたことを称賛する。	☆声をそろえて読ませ、みんなで合わせることを感じられるようにする。【①-1-1】
4 ①「時刻を求める問題」②「時間を求める問題」③「戻した時刻を求める問題」の中から選び問題を作る。	・①のときは「何分かかります」を穴埋めにする。 ・②のときは「いる時間はどれだけ」を穴埋めにする。 ・③のときは「何時何分に出る」	☆問題作りには、じっくりと取り組ませるが、時間を設定したうえで、度々経過した時間を伝え、ペースが遅くなりすぎないように促す。【①-1-1】	○作った問題を音読させたり、教師が音読したりして文章表現を見直し、適切に伝わるかどうか考えられるようにする。【①-1-3】	☆選んだ問題と例示された問題を並べて、どこを同じにして、どこを変えるか考えることができるようにする。【①-1-1】 ◎教師の助言や励ましを受けながら集中して問題を考

<p>5 問題を出し合う。</p>	<p>を穴埋めにする。</p> <p>・文章の表現が間違っていないか問いかける。</p>	<p>◎友達の意図を理解し、答えを求めることができる。(観察)</p>	<p>◎友達の発表した問題を落ち着いて聞き、理解することができる。(観察)</p>	<p>え、書いたり直したりすることができる。(問題文)</p>
<p>6 本時の学習を振り返る。</p> <p>何時何分か？と、何時間何分か？は、よく読んで見分ける。</p>	<p>・時刻と時間はどのように違うか問いかける。</p>	<p>☆発表する姿をみんなが注目するように言葉をかけ、自己肯定感が得られるようにする。 【①-2-3】</p>	<p>☆思いついた言葉を次々に発しているときは、言いたいことをまとめてあげ、達成感をもたせる。 【①-1-1】</p>	<p>☆集中が切れてしまったときは、できた問題を掲げ、自己有用感をもたせる。 【①-2-3】</p>
<p>7 終わりの挨拶をする。</p>				